

もう落ちるのはイヤだ！ 「無償化」時代の高校と高校入試を見直そう

6月24日(木) 18時半～ エデュカス東京 地下会議

- 今春の高校入試は、予想された通り大変でした。長引く経済不況に、新しい政権による公立高校授業料無償化の動き。何より、中3の生徒は増えているのに、これまで都立高校をつぶしすぎた（統廃合／再編）結果、《夜間定時制の二次試験で313人の不合格者》を出すに至ったのです。4月に入ってから、定時制の「追加募集」という異例の措置が発表されました。しかし、タイトルにあるように、何度も落とされ続けた子どもたちには、必ずしも届きませんでした。
- 今春の入試に関するデータは夏前に出されますが、「89.94%」という、90%を下回った昨春の全日制進学率（公私を含めた）は、この20年間で最低でした。都教委と私学で話し合い（公私協）、都民に約束した「96%」の計学進学率（就学計画）から、実態は離れるばかりです。そもそも、計画段階から「4%」の子どもたちを排除していること自体が問題です。公立高校の受験倍率（一般入試）が「1.5倍」というのも、全国的に例のない高さです。
- 「お金がなくても学校行きたい！」…昨年暮れ渋谷の街を、全国から集まった高校生たちが、「サンタのおじさんかなえてほしい！」と授業料無償化や私学助成・奨学金の拡充を訴えながら歩きました。現在の社会状況で「学び直し」も含め「高校ぐらい行かせて！」は当然の声です。「08年／静岡」「09年／和歌山」につづき、12年入試から「埼玉」も公立高校の入試一本化が決められようとしています。東京でも、現在：入学者選抜制度検討委員会が発足し、入試制度変更の動きが始まっています。今なお「選択と競争の時代」（石原都知事）をかかげる教育行政に対し、まず子どもたちや学校の実態を出し合って共有し、本当の意味での「改善」を求める動きをつくりたい。そのための「一歩」を踏み出す学習会です。保護者の皆さん、先生たち、まず集まってください。

1, 今春の入試状況(現場からの声)

中学校3年担任の立場から，都立定時制高校の実情
私立高校の入試状況

2, 特別報告「入試一本化をめざす埼玉のとrikumi」

瀬田 裕司 さん（大宮第二中学校教諭）

3, 東京の高校・入試改革への課題 ～提案と交流～



2009年クリスマス行動

主催：東京都教職員組合 高校問題対策委員会

共催：東京民研、私教連、都高校問題連絡協議会

連絡先 都教組 **03-3230-3891**（教文部まで）